

2025年度第2回学校関係者評価委員会 議事録

【開催概要】

(1)日 時: 2026年3月26日(木) 14時00分～15時00分

(2)場 所: YIC ビューティモード専門学校 502 教室

(3)出席者:

外部委員

議 長(企業関係者):山村 朋之 様/株式会社ライブス 代表取締役社長

委 員(職能団体関係者):佐竹 章宏 様/山口県美容業生活衛生同業組合 理事長

委 員(企業関係者):糸賀 義将 様/有限会社ビューティサロン ニュースタイル代表取締役社長

委 員(高校関係者):縄田 典行 様/学校法人山口高川学園高川学園高等学校進路部部长

本校職員

校 長:河津 道正

事務長:日當 泰浩

教務課長:千村 希人

教務課長:大宮 友美子

学科長:金次 郁織

1. 校長挨拶

開校から約 20 年が経過し、ようやく定員に近い状況となった。さらなるブラッシュアップのため、忌憚のない意見を頂きたい旨の挨拶があった。

2. 報告・協議事項

■ 自己点検評価(2025 年改定版ガイドラインに準拠)

項目 1 から 6 について、学校より説明と評価結果の報告が行われた。

(1) 教育理念・目標および教育課程(項目 1・2)／自己評価:2

教育理念は学生便覧等で明示。

国家試験の筆記不合格者が若干名出る。入学選考での学力試験導入を検討中。

(2) 学生の受け入れと支援(項目 3)／自己評価:2

メンタル面の悩みを抱える学生が増加。担任と総合支援室が連携し自立支援を行う。

(3) 教育実施組織および教員の資質向上(項目 4)／自己評価:2

非常勤講師との意見交換を密にし、授業の充実を図る。

(4) 教育環境(項目 5)／自己評価:2

図書室の更新(専門誌の充実)や、多人数授業での視認性向上(モニター活用)が課題。

(5) 学校運営および改善活動(項目 6)／自己評価:2

SNS での積極的な情報発信により知名度が向上。地域貢献と教育効果のバランスを考慮しイベント参加を継続する。

(1)～(5)の評価について、全委員が承認した。

■ その他報告

- (1) 山口県の実地調査結果: 2026 年 2 月 12 日に山口県生活衛生課による調査が行われ、教育課程表を超える過剰な授業時間の是正(適正化)について指摘を受けたため、新年度より授業時間を若干削減する。

(2) 人事異動：4月1日付で教務課長 千村先生が副校長に就任する。

3.2026年度(令和8年度)の取り組み

【情報共有】

- 学校教育法の改正(2026年4月1日施行)：法律上の呼称が「生徒」から「学生」に統一され、授業が「単位制」となる。また、卒業生には自動的に「専門士」が付与されるようになる。
- 学則の変更：上記法改正に伴い、単位制への移行やFD研修の義務化等を含む学則変更が理事会で承認された。

【取り組み】

- 「単位制」に移行するにあたり、教員も「担任制」から「担当制」変更予定。
- 2026年2月に行われた「実地調査」(山口県生活衛生課)で、規定時間を超過した授業運営について指摘を受けた。本校としては学力向上という学生の利点を意図した取り組みであったが、改善を求められた。よって2026年度シラバスは単位取得条件の授業時間の基準を厳守することとし、定められた時間での教育力向上を目指す。

4. 委員からの質疑応答・助言

- 学生のメンタルヘルス：欠席や浮き沈みのある学生が1割弱存在する。山口県は通信制高校からの進学者割合が全国平均の2倍以上(約20%)と高く、全日制の生活リズムに慣れるのが第一のハードルとなっている実態が共有された。
- 教育環境の改善：30名以上の実習授業では、教員の手元が見えにくいという指摘があり、スマホやモニターを活用したデモンストレーションの導入を即座に検討することとした。
- 保護者対応と就職支援：近年、保護者の関心が高く、三者・四者面談の強化が必要となっている。特に就職活動において、内定後のトラブルを防ぐための事前の合意形成が重要であるとの助言があった。

5. 連絡事項

2026年度の委員会開催予定：

- 第1回：2026年10月28日(水)14:00～
- 第2回：2027年3月24日(水)14:00～